

# 岡山大学 MONTHLY DIGEST

VOL. 89  
2023.9

TOPICS

1

## 岡山大学工学部工学科情報工学先進コースの設置について

### 2024年4月岡山大学工学部工学科に 「情報工学先進コース」設置

情報工学をより早く、より先まで学びたい人のために新たなコース（募集人員40人）を設置し、大学院進学を前提とした6年一貫教育プログラムを導入します

現行		情報工学先進コース設置後	
工学部工学科 入学定員640人		工学部工学科 入学定員640人	
情報システム系 (190人)	情報システム系 (190人)	情報システム系 (190人)	情報システム系 (190人)
機械系 (190人)	機械系 (190人)	機械系 (190人)	機械系 (190人)
電気・電子情報系 (190人)	電気・電子情報系 (190人)	電気・電子情報系 (190人)	電気・電子情報系 (190人)
情報・電気・情報システム系 (190人)	情報・電気・情報システム系 (190人)	情報・電気・情報システム系 (190人)	情報・電気・情報システム系 (190人)
化学・生命系 (170人)	化学・生命系 (170人)	化学・生命系 (170人)	化学・生命系 (170人)
		情報工学先進コース 40人	

※(1)内閣府の人数です。

情報工学先進コースの募集人員40人は工学部工学科の定員の40人に含まれるのではなく、新たに専任教員10名を確保しての募集です。

本学工学部工学科では、2024年度から入学定員を増員し、新たに「情報工学先進コース」を設置する計画が、この度文部科学省に認可されました。「情報工学先進コース」では大学院進学を前提とし、学部と大学院の教育に連携を持たせた6年間一貫となる教育を実施します。また、入学時からコースに配属され、早期から専門領域の知識と技術を身に付けるための科目とプログラミングコンテストへの参加を通して実践力を養う科目を専門教育科目として配置し、これらを通して課題発見・解決能力や実践力を有した高度情報専門人材を養成します。

「情報工学先進コース」の2024年度入学者選抜は一般選抜(前期日程)にて行い、40人を募集します。なお、「情報工学先進コース」設置に伴い、2024年度入学者選抜においては、一般選抜(前期日程)における化学・生命系の募集人員目安を10人減員します。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id12342.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12342.html)



TOPICS

2

## 本学代表学生が次世代リーダー・グローバル・サミット One Young World2023日本代表団壮行会に出席

「次世代リーダー・グローバル・サミットOne Young World」の2023年大会がイギリス・ベルファストで行われるのを前に、日本代表団の壮行会が8月25日に開催され、本学グローバル・ディスカバリー・プログラム1年のAkramjonova Dilyorakhon Azizbek Kiziさんと、同プログラム3年の布こころさんが出席しました。

壮行会では、一般社団法人One Young World Japan Committee代表理事の久保公人氏による開会の辞に続き、あいさつをした駐日英国大使のJulia Longbottom氏は、本年がイギリスとアイルランドで結ばれた北アイルランド紛争に関する和平合意締結から25年となることに触れ、「アイルランドの歴史的背景を知り、世界中から集うヤングリーダーと平和についても積極的に意見交換してほしい。若い皆さんが一丸となれば、良い変化を生み出すことができると信じています」と参加者を激励しました。

その後、過去にOYWに参加したアンバサダーとベルファスト大会に参加する大学生や社会人による交流会が行われ、交流を深めました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id12317.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12317.html)



Pick up!

## 本学競技かるた部の二神新太さんが、 全国競技かるた大会で優勝！

8月5日、6日に島根県益田市で開催された「第28回人麿の里・全国競技かるた益田大会」に、本学の競技かるた部の二神新太さん(理学部1年)が出場し、D2級で優勝しました！本大会は、A級(4段以上)・B級(3段)・C級(2段)・D級(初段)・E級(無段)の5つの競技部門があり、二神さんが出場したD級は2グループに分かれ、それぞれ優勝者を決定しました。

今回の結果を受け、二神さんは「楽しんで試合に臨むことができました。次の大会でも絶対に優勝したいと思います」と今後の意気込みを話しました。

競技かるたは、全国各地で行われる全日本かるた協会公認の大会において一定の成績を修めることで昇級することができます。今回の結果から、二神さんは見事C級への昇級を果たすことができました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id12359.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12359.html)



TOPICS

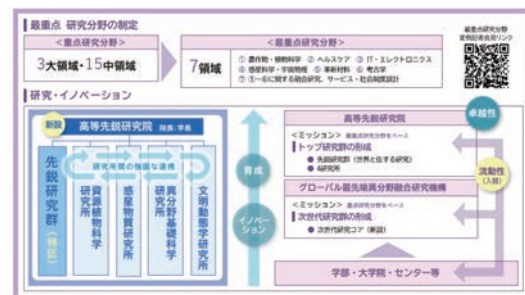
3

## 岡山大学高等先鋭研究院を創設～世界と伍す研究・イノベーションの卓越と厚みを育成するシステムを構築～

本学は、9月11日の大学経営戦略会議において「岡山大学高等先鋭研究院」の設置を決定しました。高等先鋭研究院は、本学の4研究所（資源植物科学研究所、惑星物質研究所、異分野基礎科学研究所、文明動態学研究所）を集約し、本学の強みある研究領域の更なる強化と、これに伴うイノベーション創出の更なる推進を目指し、研究力の卓越性と厚みを育成するためのシステムとして設置します。

今回創設した高等先鋭研究院のポイントは、「箱（組織）」ではなく、「システムである」という点です。本学の研究・イノベーションを牽引する4研究所間の有機的連携によるシナジー効果を発揮させ、新たに強みとなる研究・イノベーション分野の創出を促します。さらに、高等先鋭研究院の中に新たな研究特区制度として「先鋭研究群」を設置。先鋭研究群ではトップ研究者を集約し、本学の研究を先導するとともに、高等先鋭研究院の下部組織である「グローバル最先端異分野融合研究機構」との密な連携によって研究者層に厚みを持たせ、世界トップクラスの研究群を形成・育成するシステムを担います。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id12398.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12398.html)



TOPICS

4

## 令和5年度秋季学位記授与式を挙行

本学は9月25日、令和5年度秋季学位記授与式を行い、学部生・大学院生ら計169人が巣立ちました。式では那須保友学長が学部・研究科などの総代3人に学位記を授与。学業成績と人物がともに優れた学生に授与する「岡山大学黒正賞」を1人に賞状を贈りました。

那須学長は英語で式辞を述べ、「FUEKI-RYUKO（不易流行）」と「OKADAI-LOVE（岡大愛）」の2つの言葉を紹介。「岡大愛を抱く皆さんの未来が、ご活躍、ご健康、そしてご多幸に溢れることを祈っています」と祝福しました。

卒業生・修了生を代表して、大学院環境生命科学研究所のザオ マオシャンさんが「COVID-19の大流行により、私たちの日本への旅路は大きな影響を受けました。岡山大学は私たちを多様な文化に触れさせることで、誇り高き卒業生へと成長させてくれました。私たちは快適な場所を離れ、障壁に立ち向かうことで、国境が知識、再起力、夢を制限することはできないことを証明しました。私たちは岡山大学の美しいキャンパス、優れた教育環境、質の高い留学プログラムを愛しています」と、答辞を述べました。卒業生らは友人や後輩、家族らとも記念撮影したり、研究室を訪れるなどして、別れを惜しんでいました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id12410.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12410.html)

PRESS  
RELEASE

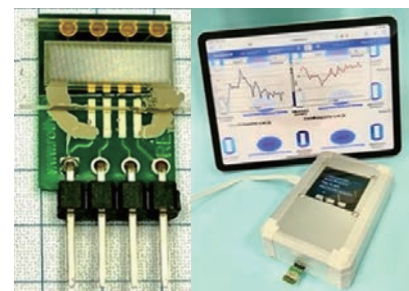
## 本学の特許技術により、室温動作可能な高感度水素センサを開発！ ～クリーンな水素エネルギーを安心安全に利用できる社会に貢献～

岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学学域の紀和利彦教授は、株式会社テクニスコと共同で、室温で動作可能な高感度水素センサを開発しました。

今回開発した水素センサは、岡山大学保有の特許技術である、厚さ数十ナノメートルの白金超薄膜を活用。白金と水素が触媒反応し、白金の電気抵抗が変化することは知られていましたが、変化がわずかであるため、従来は水素ガスを検出することが困難でした。今回、白金の厚さを限りなく薄くし、白金内部の自由電子の数を少なくすることにより、大きな電気抵抗の変化を得ることで、室温でも水素ガスが検出できるようになりました。

これまで開発されている水素センサの多くは、水素ガスを検出するためにセンサ自体を数百度以上に加熱する必要がありましたが、室温でも検出することが可能になりました。また、加熱するための電力が不要のため、消費電力を極めて低く抑えることができます。加えて、白金は室温では水素ガス以外のガスには反応しにくいので、水素ガスのみを選択的に検出することが可能です。この技術は、水素自動車や燃料電池などのクリーンな水素エネルギーの安心・安全を守ることに貢献します。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id1138.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id1138.html)



(左) 開発した水素センサ

(右) 動作デモンストレーションの様子

